

# 令和8年度 市民税・府民税の申告書について

**この申告書は、前年に市民税・府民税申告書を提出した人にお送りしています。**

**非課税証明書を取得するために前年に簡易な申告をした人にもお送りしています。**

令和8年度 市民税・府民税申告書は、昨年1年間（令和7年1月1日から令和7年12月31日まで）の収入および控除等の申告をしていただくものです。以下の「申告書の手引き」をよくお読みになって正しくご記入のうえ、提出いただきますようお願いいたします。

**申告期限は、令和8年3月16日（月）です。早めの申告をお願いします。**

## 申告書の手引き

### 申告が必要な人

令和8年1月1日現在、八幡市にお住いの人

ただし、次のような人は申告不要です。

- (1) 令和7年中の収入が給与収入のみで、勤務先から給与支払報告書が八幡市に提出されており、「給与所得の源泉徴収票」に記載されている所得控除以外に、申告する控除等がない人
- (2) 令和7年中の収入が公的年金（遺族年金、障害年金等は除く）のみで、「公的年金等の源泉徴収票」に記載されている所得控除以外に、申告する控除等がない人
- (3) 令和7年分の所得税の確定申告書を税務署へ提出する人

### ○令和7年中に所得がなかった人

令和7年中に所得がなかったとしても、申告書の提出がないと、非課税証明書が発行できない場合や、国民健康保険料、介護保険料、後期高齢者医療保険料等の算定に影響が出る場合がありますので、必ず申告してください。

- ① 申告書裏面最下部の「☆前年（令和7年）中に所得のなかった人など…」欄の当てはまる項目の数字を○で囲んで提出してください。
- ② 扶養親族・同一生計配偶者がいる場合は、必ず申告書表面の「㉓～㉔配偶者控除・配偶者特別控除・同一生計配偶者」欄、「㉕～㉖扶養控除・特定親族特別控除」欄、「16歳未満の扶養親族（控除対象外）」欄に氏名等を記入してください。

### 申告のときに必要なもの

- ① マイナンバーカードまたは個人番号確認書類（通知カード等）と本人確認書類（運転免許証等）
  - ② 給与や年金の源泉徴収票・報酬や生命保険等の支払調書等、収入のわかるもの
  - ③ 事業所得、不動産所得等がある人は、収入金額や必要経費のわかるもの等  
⇒詳しくは、5ページの所得の種類ごとの【添付書類】をご参照ください。
  - ④ 所得控除を受けるために必要な書類  
⇒詳しくは、2～3ページの所得控除の種類ごとの【必要書類】をご参照ください。
  - ⑤ 税額控除を受けるために必要な書類  
寄附金控除・・・寄附を行った際の領収書、証明書
- ※ 同一生計配偶者、扶養親族、事業専従者がある場合は、事前に対象者のマイナンバーを確認してください。
- ※ 郵送で提出する場合は、①～③の写し、④⑤の原本（一部写し）を同封して、税務課市民税係まで郵送してください。

お問い合わせは **八幡市役所 税務課 市民税係** 電話(075)983-1113（直通）  
〒614-8501 京都府八幡市八幡園内75番地 2164（直通）

## 所得から差し引かれる金額に関する事項

| 所得控除の種類                            | 所得控除の内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                 |
|------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| ⑬<br>雑損控除                          | <p>あなた又はあなたと生計を一にする配偶者その他の親族（令和7年中の総所得金額等が58万円以下の人に限る）の生活資産等が火災、震災、風水害、盗難、横領等によって損害を受けた場合や、あなたが災害に関連してやむを得ない支出をした場合に控除されます。</p> <p>ただし、書画、骨董、貴金属、別荘等の生活に通常必要のない資産の損害については認められません。</p> <p>【必要書類】り災証明書及び損害額がわかる書類（災害を受けた資産の明細書、災害関連支出の領収書等）</p> <p>◆雑損控除額は、次の(1)又は(2)のいずれか多い方の金額です。</p> <p>(1) 差引損失額（損失金額－保険金等で補てんされる金額）－総所得金額等の合計額×10%の額</p> <p>(2) 災害関連支出の金額－5万円</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                 |
| ⑭<br>医療費控除                         | <p>あなた又はあなたと生計を一にする配偶者その他の親族のために令和7年中に支払った医療費で通常必要と認められるもの及び介護保険に係るサービスの対価で認められるものの合計額が一定額を超える場合に控除されます。（限度額：200万円）</p> <p>ただし、容姿の美化や容ぼうを変える等が目的の整形手術、健康増進や病気予防等のための医薬品、人間ドック等の健康診断（診断の結果、引き続き治療を受ける場合は除く）、治療に直接必要のないメガネ等の購入費等は控除の対象になりません。また、保険金等で補てんされる金額は、支払った医療費から差し引きます。</p> <p>【必要書類】医療費控除の明細書、おむつ使用証明書等</p> <p>○医療費控除の特例（セルフメディケーション税制による特例）</p> <p>特定健康診査、予防接種、定期健康診断、健康診査、がん検診のいずれかを受けた人で、令和7年中にスイッチOTC医薬品の購入額が一定額を超える場合に控除されます。（限度額：8万8千円）</p> <p>【必要書類】上記の取組を明らかにする書類およびセルフメディケーション税制の明細書</p> <p>※本特例の適用と従来の医療費控除の適用は選択制であり、いずれか一方しか受けることができません。</p> <p>○医療費控除の明細書の添付義務化</p> <p>領収書の提出による申告はできません。必ず、医療費控除の明細書を添付してください。なお、医療費の領収書は自宅で5年間保存する必要があります。医療保険者から交付を受けた医療費通知（受診者名、受診年月、医療機関等の名称、受診者自己負担額等を記載したもの）を添付すると、明細の記入を省略できます。</p> |                                                 |
| ⑮<br>社会保険料控除<br><br>(小規模企業共済等掛金控除) | <p>あなた又はあなたと生計を一にする配偶者その他の親族の負担すべき社会保険料（健康保険・国民健康保険・後期高齢者医療保険・介護保険・雇用保険・国民年金・公的年金・農業者年金等の保険料や共済掛金等）をあなたが令和7年中に支払った場合（配偶者その他の親族の給与・年金等から差し引かれた社会保険料は除く）、又は給与等から差し引かれた社会保険料がある場合に控除されます。</p> <p>【必要書類】国民年金保険料控除証明書等</p> <p>あなたが令和7年中に小規模企業共済事業団が行う第一種共済の掛金や、確定拠出年金法の企業型または個人型年金加入者掛金、府・市が行う心身障害者扶養共済の掛金等を支払った場合に控除されます。（「⑮社会保険料控除」の欄に記入してください。）</p> <p>【必要書類】支払った掛金額の証明書</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                 |
| ⑰<br>生命保険料控除<br><br>◆6ページ⑰参照       | <p>あなた又は配偶者その他の親族を受取人にする生命保険契約、介護医療保険契約、あなた又は配偶者を受取人にする個人年金保険契約等のために、あなたが令和7年中に保険料を支払った場合に控除されます。</p> <p>一般の生命保険料（新旧別）、介護医療保険料、個人年金保険料（新旧別）に分けてそれぞれ記入してください。区分については、生命保険会社等が発行する控除証明書に表示されています。 【必要書類】控除証明書</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                 |
| ⑱<br>地震保険料控除<br><br>◆6ページ⑱参照       | <p>あなたが令和7年中に地震保険契約等の保険料を支払った場合に控除されます。</p> <p>ただし、平成18年12月31日までに締結した長期損害保険契約等の保険料については、従前の損害保険料控除が適用される経過措置がありますので、地震保険料と旧長期損害保険料に分けてそれぞれ記入してください。</p> <p>【必要書類】控除証明書</p> <p>（注）1 契約で地震保険料と旧長期損害保険料いずれにも該当する場合はどちらか一方を選択して適用します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                 |
| ⑲<br>寡婦控除                          | <p>あなたの令和7年中の合計所得金額が500万円以下で、かつ、令和7年12月31日現在で次のいずれかに該当する場合に控除されます。</p> <p>(1) 夫と死別（生死不明の場合を含む）した後、婚姻していない人。</p> <p>(2) 夫と離婚した後、婚姻していない人で、子以外の扶養親族がいる人。</p> <p>※住民票の続柄に「夫（未届）」「妻（未届）」の記載がある人は対象外。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 控除額：26万円                                        |
| ⑳<br>ひとり親控除                        | <p>あなたの令和7年中の合計所得金額が500万円以下で、かつ、令和7年12月31日現在で生計を一にする子（令和7年中の総所得金額等が58万円以下で、他の人の同一生計配偶者や扶養親族となっていない人）がいる場合に控除されます。</p> <p>※住民票の続柄に「夫（未届）」「妻（未届）」の記載がある人は対象外。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 控除額：30万円                                        |
| ㉑<br>勤労学生控除                        | <p>あなたが令和7年12月31日現在で学生、生徒、児童であって、令和7年中の合計所得金額が85万円以下（そのうち、給与所得等以外の所得の合計額が10万円以下）の場合に控除されます。</p> <p>【必要書類】在学証明書等</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 控除額：26万円                                        |
| ㉒<br>障害者控除                         | <p>あなた又はあなたの同一生計配偶者、扶養親族が令和7年12月31日現在で次のいずれかに該当する場合に所定の金額が控除されます。（控除額は一人につき）</p> <p>(1) 特別障害者…障害者のうち、精神又は身体に次のような重度の障害のある人。</p> <p>○精神障害者保健福祉手帳に障害等級が1級と記載されている人。</p> <p>○身体障害者手帳に身体上の障害が1級又は2級と記載されている人等。</p> <p>(2) 同居特別障害者…扶養親族が(1)に該当し、かつ、あなた又はあなたの配偶者若しくはあなたと生計を一にするその他の親族のいずれかと同居している人。</p> <p>(3) その他の障害者…(1)(2)以外の障害者</p> <p>【必要書類】身体障害者手帳の写し等</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | <p>控除額：30万円</p> <p>控除額：53万円</p> <p>控除額：26万円</p> |

# 申告書の書き方

※年齢 65 歳未満

## 3 所得から差し引かれる金額に関する事項

|       |                       |                                                                                                                                                           |                                    |                                             |
|-------|-----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------------|
| 13    | 雑損控除                  | 損害の原因                                                                                                                                                     | 損害年月日                              | 損害を受けた資産の種類                                 |
|       |                       | 損害金額                                                                                                                                                      | 保険金などで補填される金額                      | 差し引損失額のうち災害関連支出の金額                          |
| 14    | 医療費控除                 | 支払った医療費等                                                                                                                                                  | 保険金などで補填される金額                      |                                             |
|       |                       | 500,000 円                                                                                                                                                 | 200,000 円                          |                                             |
| 15    | 社会保険料控除               | 社会保険の種類                                                                                                                                                   | 支払った保険料                            |                                             |
|       |                       | 国民健康保険                                                                                                                                                    | 440,000 円                          |                                             |
|       |                       | 国民年金                                                                                                                                                      | 197,190 円                          |                                             |
|       |                       | 小規模企業共済等                                                                                                                                                  | 50,000 円                           |                                             |
|       |                       | 合計                                                                                                                                                        | 687,190 円                          |                                             |
| 17    | 生命保険料控除               | 新生命保険料の計                                                                                                                                                  | 旧生命保険料の計                           |                                             |
|       |                       | 40,000 円                                                                                                                                                  | 80,000 円                           |                                             |
|       |                       | 新個人年金保険料の計                                                                                                                                                | 旧個人年金保険料の計                         |                                             |
|       |                       | 80,000 円                                                                                                                                                  | 40,000 円                           |                                             |
|       |                       | 介護医療保険料の計                                                                                                                                                 |                                    |                                             |
|       |                       | 50,000 円                                                                                                                                                  |                                    |                                             |
| 18    | 地震保険料控除               | 地震保険料の計                                                                                                                                                   | 旧長期損害保険料の計                         |                                             |
|       |                       | 24,000 円                                                                                                                                                  |                                    |                                             |
| 19~21 | 寡婦控除、ひとり親控除、勤労学生控除    | 19 <input type="checkbox"/> 寡婦控除<br><input type="checkbox"/> 死別 <input type="checkbox"/> 生死不明<br><input type="checkbox"/> 離婚 <input type="checkbox"/> 未帰還 | 20 <input type="checkbox"/> ひとり親控除 | 21 <input type="checkbox"/> 勤労学生控除<br>(学校名) |
| 22    | 障害者控除                 | 1 氏名 障害の程度 級度                                                                                                                                             | 2 氏名 障害の程度 級度                      |                                             |
| 23~24 | 配偶者控除・配偶者特別控除・同一生計配偶者 | 配偶者 氏名 オトコヤマ サツキ 生年月日 35・10・1 配偶者の合計所得金額 0 円                                                                                                              |                                    |                                             |
| 25~26 | 特定扶養親族特別控除            | 1 氏名 オトコヤマ タケ 生年月日 4・11・1 同居・別居の区分 同居 続柄 母 万円                                                                                                             |                                    |                                             |
|       |                       | 2 氏名 オトコヤマ サクラ 生年月日 16・12・1 同居・別居の区分 同居 続柄 子 万円                                                                                                           |                                    |                                             |
|       |                       | 3 氏名 生年月日 同居・別居の区分 同居 続柄 万円                                                                                                                               |                                    |                                             |
|       |                       | 4 氏名 生年月日 同居・別居の区分 同居 続柄 万円                                                                                                                               |                                    |                                             |
| 16    | (16歳未満の扶養親族)          | 1 氏名 オトコヤマ ノコ 生年月日 22・11・1 同居・別居の区分 同居 続柄 子                                                                                                               |                                    |                                             |
|       |                       | 2 氏名 生年月日 同居・別居の区分 同居 続柄                                                                                                                                  |                                    |                                             |
|       |                       | 3 氏名 生年月日 同居・別居の区分 同居 続柄                                                                                                                                  |                                    |                                             |

当該親族等が特定親族である場合には、「特親」の欄に○を記入してください。

|       |              |     |           |             |
|-------|--------------|-----|-----------|-------------|
| 1     | 事業           | 営業等 | ア         | 5,000,000 円 |
|       | 農業           | 業   | イ         |             |
| 2     | 不動産          | ウ   | 100,000   |             |
|       | 利子           | エ   |           |             |
| 3     | 配当           | オ   | 120,000   |             |
|       | 給与           | カ   | 778,000   |             |
| 4     | 公的年金等        | キ   | 1,000,000 |             |
|       | 業務           | ク   | 100,000   |             |
|       | その他          | ケ   | 50,000    |             |
| 5     | 総合譲渡         | コ   |           |             |
|       | 長期           | サ   |           |             |
|       | 一時           | シ   |           |             |
| 6     | 事業           | 営業等 | ①         | 1,400,000   |
|       | 農業           | 業   | ②         |             |
| 7     | 不動産          | ③   | 100,000   |             |
|       | 利子           | ④   |           |             |
| 8     | 配当           | ⑤   | 120,000   |             |
|       | 給与           | ⑥   | 28,000    |             |
| 9     | 公的年金等        | ⑦   | 400,000   |             |
|       | 業務           | ⑧   | 70,000    |             |
|       | その他          | ⑨   | 30,000    |             |
|       | 合計           | ⑩   | 500,000   |             |
|       | 総合譲渡・一時      | ⑪   |           |             |
|       | 合計           | ⑫   | 2,148,000 |             |
| 13    | 雑損控除         |     |           |             |
| 14    | 医療費控除        |     |           |             |
| 15    | 社会保険料控除      |     |           |             |
| 16    | 小規模企業共済等掛金控除 |     |           |             |
| 17    | 生命保険料控除      |     |           |             |
| 18    | 地震保険料控除      |     |           |             |
| 19~20 | 寡婦、ひとり親控除    |     |           |             |
| 21~22 | 勤労学生、障害者控除   |     |           |             |
| 23    | 配偶者控除        |     |           |             |
| 24    | 配偶者特別控除      |     |           |             |
| 25    | 扶養控除         |     |           |             |
| 26    | 特定親族特別控除     |     |           |             |
| 27    | 基礎控除         |     |           |             |
| 28    | 合計           |     |           |             |

※記入しないでください。

地方税法附則第4条の5の規定の適用を選択する場合には、「医療費控除欄」の「区分」の□に「1」と記入してください。

5 給与所得及び公的年金等に係る所得以外の市民税・府民税の納税方法

☐ 給与から差引き（特別徴収） ☒ 自分で納付（普通徴収）

「個人番号」欄には、個人番号（行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条第5項に規定する個人番号をいう。）を記載してください。

備考

2 ページを参照してください

下段の表を参照してください。

5 ページを参照してください

| 所得控除の種類                        | 所得控除の内容                                                                                                                                                                                                                                            |
|--------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 23 配偶者控除・同一生計配偶者<br>◆6 ページ23参照 | あなたの令和7年中の合計所得金額が1,000万円以下で、かつ、生計を一にする配偶者（内縁関係、事業専従者は除く）の令和7年中の合計所得金額が58万円以下の場合に、所定の金額が控除されます。（配偶者が昭和31年1月1日以前に生まれた人である場合、老人配偶者控除が適用）なお、あなたの合計所得金額が1,000万円超である場合、「同一生計配偶者（控除対象配偶者を除く）」欄にチェックしてください。                                                |
| 24 配偶者特別控除<br>◆6 ページ24参照       | あなたの令和7年中の合計所得金額が1,000万円以下で、かつ、生計を一にする配偶者の令和7年中の合計所得金額が58万円を超え133万円以下の場合に、所定の金額が控除されます。<br>「配偶者の合計所得金額」欄に配偶者の合計所得金額を記入してください。                                                                                                                      |
| 25 扶養控除<br>◆6 ページ25参照          | あなたに16歳未満を除く扶養親族がいる場合に所定の額が控除されます。扶養親族とは、あなたと生計を一にする親族（配偶者、事業専従者を除く）で、令和7年中の合計所得金額が58万円以下の人をいいます。年の途中で死亡された人も対象となりますが、他の人の同一生計配偶者や扶養親族である場合は、重複適用できません。<br>【必要書類】国外居住親族に係る扶養控除等の適用を受ける場合は、「親族関係書類」と「送金関係書類」に加え、30歳以上70歳未満の場合は「留学ビザ等書類」、「38万円送金書類」等 |
| 26 特定親族特別控除<br>◆6 ページ26参照      | あなたに特定親族がいる場合に所定の額が控除されます。特定親族とは、あなたと生計を一にする19歳以上23歳未満の親族（配偶者、事業専従者は除く）で、令和7年中の合計所得金額が58万円超123万円以下の人をいいます。年の途中で死亡された人も対象となりますが、他の人の配偶者特別控除又は特定親族特別控除の対象とされている場合は、重複適用できません。                                                                        |
| 16歳未満の扶養親族（扶養控除対象外）            | 16歳未満の扶養親族にかかる控除はありませんが、住民税の課税判定等に必要がありますので、氏名等を記入してください。                                                                                                                                                                                          |

## I 給与収入があった人の申告（源泉徴収票を添付できる場合、①は不要です。）

- ① 申告書裏面の「6 給与所得の内訳」欄に、1月～12月の日給、勤務日数、月収、賞与等、1年間の収入の合計額、勤務先に関する事項を記入してください。（手取りではなく、社会保険料や所得税等を差し引く前の金額で計算します。）
- ② 1年間の収入の合計額を、申告書表面の「給与 力」欄に記入してください。
- ③ ②の給与収入金額から、下記の速算表を参考に給与所得金額を計算し、申告書表面の「給与 ⑥」欄に記入してください。
- ④ 申告書表面の「3 所得から差し引かれる金額に関する事項」について記入してください。（書き方については2・3ページをご覧ください。）

### 給与所得金額の速算表

| 給与等の収入金額                | 給与所得金額                  |
|-------------------------|-------------------------|
| 1円 ～ 650,999円           | 0円                      |
| 651,000円 ～ 1,899,999円   | 給与等の収入金額-65万円           |
| 1,900,000円 ～ 3,599,999円 | (給与等の収入金額÷4) ※×2.8-8万円  |
| 3,600,000円 ～ 6,599,999円 | (給与等の収入金額÷4) ※×3.2-44万円 |
| 6,600,000円 ～ 8,499,999円 | 給与等の収入金額×0.9-110万円      |
| 8,500,000円 ～            | 給与等の収入金額-195万円          |

※千円未満の端数切捨て

《計算例》 給与等の収入金額が5,812,500円の場合  
 $5,812,500 \text{円} \div 4 = 1,453,125 \text{円} \cdots$  千円未満切捨て → 1,453,000円  
 $1,453,000 \text{円} \times 3.2 - 440,000 \text{円} = 4,209,600 \text{円} \cdots$  給与所得金額

### 所得金額調整控除

#### ①子ども・特別障害者等を有する人

給与等の収入金額が850万円を超え、次の⑦から⑨のいずれかに該当する場合は、給与所得金額から所得金額調整控除額が控除されますので、申告書裏面の「15 所得金額調整控除に関する事項」欄に氏名等を記入してください。

- ⑦ 本人が特別障害者に該当する
- ⑧ 年齢23歳未満の扶養親族を有する
- ⑨ 特別障害者である同一生計配偶者若しくは扶養親族を有する

所得金額調整控除額 = (給与等の収入金額 (1,000万円を超える場合は1,000万円) - 850万円) × 10%

#### ②給与所得と公的年金等に係る雑所得の双方を有する人

給与所得と公的年金等に係る雑所得があり、合計した所得額が10万円を超える場合は、給与所得金額から所得金額調整控除額が控除されます。

所得金額調整控除額 = (給与所得金額 (10万円を超える場合は10万円) + 公的年金等に係る雑所得金額 (10万円を超える場合は10万円)) - 10万円

《計算例》 65歳以上の人で公的年金等に係る雑所得以外の所得金額1,000万円以下の人の場合

公的年金等の収入金額：200万円 給与等の収入金額：160万円

給与所得控除額：65万円

所得金額調整控除額：10万円 (給与所得上限額) + 10万円 (公的年金等に係る雑所得上限額) - 10万円 = 10万円

160万円 - 65万円 (給与所得控除額) - 10万円 (所得金額調整控除額) = 85万円 (給与所得金額)

## II 公的年金等の収入があった人の申告

- ① 公的年金等の源泉徴収票の「支払金額」欄の金額を、申告書表面の「公的年金等 キ」欄に記入してください。
- ② ①の公的年金収入から、下記の速算表を参考に雑所得金額を計算し、申告書表面の「雑 公的年金等⑦」欄に記入してください。
- ③ 申告書表面の「3 所得から差し引かれる金額に関する事項」について記入してください。（書き方については、2・3ページをご覧ください。）

### 公的年金等に係る雑所得金額の速算表

| 年齢区分                  | A 公的年金等の収入金額              | B 割合 | C 控除額                     |                       |             | 公的年金等<br>に係る<br>雑所得金額    |
|-----------------------|---------------------------|------|---------------------------|-----------------------|-------------|--------------------------|
|                       |                           |      | 公的年金等に係る雑所得以外の所得に係る合計所得金額 |                       |             |                          |
|                       |                           |      | 1,000万円以下                 | 1,000万円超<br>2,000万円以下 | 2,000万円超    |                          |
| 昭和36年1月2日<br>以後に生まれた人 | 1 円 ～ 1,299,999 円         | 100% | 600,000 円                 | 500,000 円             | 400,000 円   | A × B - C<br>で求めた金額<br>※ |
|                       | 1,300,000 円 ～ 4,099,999 円 | 75%  | 275,000 円                 | 175,000 円             | 75,000 円    |                          |
|                       | 4,100,000 円 ～ 7,699,999 円 | 85%  | 685,000 円                 | 585,000 円             | 485,000 円   |                          |
|                       | 7,700,000 円 ～ 9,999,999 円 | 95%  | 1,455,000 円               | 1,355,000 円           | 1,255,000 円 |                          |
|                       | 10,000,000 円 以上           | 100% | 1,955,000 円               | 1,855,000 円           | 1,755,000 円 |                          |
| 昭和36年1月1日<br>以前に生まれた人 | 1 円 ～ 3,299,999 円         | 100% | 1,100,000 円               | 1,000,000 円           | 900,000 円   | A × B - C<br>で求めた金額<br>※ |
|                       | 3,300,000 円 ～ 4,099,999 円 | 75%  | 275,000 円                 | 175,000 円             | 75,000 円    |                          |
|                       | 4,100,000 円 ～ 7,699,999 円 | 85%  | 685,000 円                 | 585,000 円             | 485,000 円   |                          |
|                       | 7,700,000 円 ～ 9,999,999 円 | 95%  | 1,455,000 円               | 1,355,000 円           | 1,255,000 円 |                          |
|                       | 10,000,000 円 以上           | 100% | 1,955,000 円               | 1,855,000 円           | 1,755,000 円 |                          |

※計算結果がマイナスになるときは、所得金額は0円

《計算例》 公的年金等の収入金額が300万円、公的年金等に係る雑所得以外の所得に係る合計所得金額が1,000万円以下の場合

- ① 昭和36年1月2日以後に生まれた人  $3,000,000 \text{円} \times 0.75 - 275,000 \text{円} = 1,975,000 \text{円}$ …公的年金等に係る雑所得金額
- ② 昭和36年1月1日以前に生まれた人  $3,000,000 \text{円} - 1,100,000 \text{円} = 1,900,000 \text{円}$ …公的年金等に係る雑所得金額

収入金額及び所得金額

|      |                                                                                                                                           |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 収入金額 | 令和7年中に収入する権利の確定した金額（売掛金、現物収入、自家消費商品などを含む。）を記入してください。給料、配当、原稿料などは手取り額ではなく、所得税その他諸控除額を差し引かれる前の金額を、その他の所得については売上金等を「1 収入金額等」欄（ア～シ）に記入してください。 |
| 必要経費 | 収入を得るために必要なものに限られます。例えば、販売商品の売上原価、事業に係る租税公課、荷造運賃等を行い、日常生活に要した生活費や所得税、市民税・府民税等は含まれません。（※収支内訳書が必要な人や詳細についてはお問い合わせください。）                     |
| 所得金額 | 収入金額から必要経費を差し引いた金額が原則です。「2 所得金額」欄（①～⑪）に記入し、その合計金額を⑫に記入してください。ただし、所得の種類によって算出方法が異なりますので、下記の表をご覧ください。                                       |

| 所得の種類   |       |   | 所得の内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 所得金額の算出方法                                                                                                                        |
|---------|-------|---|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 事業      | 営業等   | ① | 販売業、飲食店業等から生ずる所得又は自由職業（医師、弁護士、税理士、著述家、画家、俳優、大工、外交員等）などから生ずる所得（農業以外の事業から生ずる所得）を記入してください。申告書裏側の「7 事業・不動産所得に関する事項」欄にも記入してください。令和7年中の事業所得金額が290万円を超える人は、「13 事業税に関する事項」欄にも必要な事項を記入してください。<br>【添付書類】収支内訳書・領収書等収入と必要経費がわかるもの                                                                                               | ①の所得金額＝<br>アの収入金額－必要経費                                                                                                           |
|         | 農業    | ② | 農産物の生産、果樹等の栽培、農家が兼営する家畜等の飼育、わら加工品の事業等から生ずる所得を記入してください。<br>【添付書類】農業所得用収支内訳書                                                                                                                                                                                                                                          | ②の所得金額＝<br>イの収入金額－必要経費                                                                                                           |
| 不動産     |       | ③ | 地代、家賃、借地権設定等から生ずる所得を記入してください。申告書裏面の「7 事業・不動産所得に関する事項」欄にも記入してください。<br>【添付書類】収支内訳書・領収書等収入と必要経費がわかるもの                                                                                                                                                                                                                  | ③の所得金額＝<br>ウの収入金額－必要経費                                                                                                           |
| 利子      |       | ④ | 預貯金・公社債の利子、公社債投資信託等の収益の分配による所得を記入してください。ただし、次の所得については申告する必要はありません。<br>（1）所得税で源泉分離課税され、都道府県民税利子割を分離課税された利子所得<br>（2）所得税で非課税とされる障害者等の少額預金等の利子所得                                                                                                                                                                        | ④の所得金額＝エの収入金額                                                                                                                    |
| 配当      |       | ⑤ | 法人から受ける利益配当、剰余金の分配、基金利息及び証券投資信託の収益の分配による所得を記入してください。申告書裏面の「8 配当所得に関する事項」欄にも記入してください。                                                                                                                                                                                                                                | ⑤の所得金額＝<br>オの収入金額－必要経費<br>（株式の元本取得に要した負債の利子）                                                                                     |
| 給与      |       | ⑥ | 給料、賃金、賞与等の所得を記入してください。<br>【添付書類】源泉徴収票等収入のわかるもの<br>※源泉徴収票がない場合は、申告書裏面の「6 給与所得の内訳」欄にも記入してください。                                                                                                                                                                                                                        | ⑥の所得金額＝<br>カの収入金額<br>－給与所得控除額                                                                                                    |
| 雑       | 公的年金等 | ⑦ | 恩給、国民年金、厚生年金、公務員の共済年金、年金基金等（遺族年金・障害年金は除く）に係る所得を記入してください。<br>【添付書類】源泉徴収票                                                                                                                                                                                                                                             | ⑦の所得金額<br>キの公的年金等収入金額<br>－公的年金等控除額                                                                                               |
|         | 業務    | ⑧ | 原稿料、講演料又はネットオークション等を利用した個人取引若しくは、食料品の配達等の副収入による所得を記入してください。<br>【添付書類】収入と必要経費がわかるもの                                                                                                                                                                                                                                  | ⑧の所得金額<br>クの業務の収入金額－必要経費                                                                                                         |
|         | その他   | ⑨ | 生命保険契約等による個人年金等、⑦公的年金等と⑧業務に係る雑所得以外の所得を記入してください。<br>【添付書類】収入と必要経費がわかるもの                                                                                                                                                                                                                                              | ⑨の所得金額<br>ケのその他の収入金額－必要経費                                                                                                        |
| 総合譲渡・一時 |       | ⑪ | 船舶、自動車、機械器具、書画、骨董、特許権、著作権等の譲渡による所得を記入してください。<br>○短期譲渡に該当するもの…保有期間5年以内で譲渡した場合<br>○長期譲渡に該当するもの…5年を越える期間にわたって保有して譲渡した場合<br>○「特別控除額」は、通常の場合は50万円ですが、収用があった場合などには特例を受けることができます。<br>賞金や懸賞当せん金、競馬・競輪等の払戻金、生命保険契約等に基づく一時金、損害保険契約等に基づく満期返戻金等の所得を記入してください。「特別控除額」は通常の場合50万円です。<br>【添付書類】生命保険契約に基づく一時金、又は損害保険契約に基づく満期返戻金等の支払調書 | ⑪の所得金額＝<br>コ＋{(サ＋シ)×1/2}<br>コの総合譲渡短期＝<br>収入金額－必要経費<br>－特別控除額<br>サの総合譲渡長期＝<br>収入金額－必要経費<br>－特別控除額<br>シの一時＝<br>収入金額－必要経費<br>－特別控除額 |

- 「所得金額の算出方法」表中の給与所得金額の速算表、公的年金等に係る雑所得金額の速算表は、4ページをご覧ください。
- 「所得金額の算出方法」のカタカナ、○囲い数字は申告書記入欄の符号に該当します。

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 課税の根拠 | <p>市民税は、1月1日現在、市内に住所を有する人に（地方税法第318条）所得割と均等割によって課税されます。また、1月1日現在、八幡市に住所がない場合でも、事務所、事業所、家屋敷等を有していると均等割が課税されます。（地方税法第294条、八幡市税条例第23条）</p> <p>府民税は、1月1日現在、府内に住所を有する人に（地方税法第39条）所得割と均等割によって課税されます。また、1月1日現在、府内に住所がない場合でも、事務所、事業所、家屋敷等を有していると均等割が課税されます。（地方税法第24条、京都府税条例第24条、京都府豊かな森を育てる府民税条例第3条）なお、賦課徴収は、市民税と併せてすることになっています。（地方税法第41条）</p> <p>森林環境税は、1月1日現在、国内に住所を有する人に課税されます。（森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律第3条・第6条）なお、賦課徴収は市民税・府民税と併せてすることになっています。（森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律第7条）</p> |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

⑰生命保険料控除額

|                                                                                                                                                                    |                      |                                      |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|--------------------------------------|
| (1) 新契約（平成24年1月1日以後に締結した保険契約）による保険料を支払った場合（一般・年金・介護医療それぞれに適用）                                                                                                      |                      |                                      |
| 年間の支払保険料                                                                                                                                                           | 控除額                  |                                      |
| ～ 12,000 円                                                                                                                                                         | 支払保険料の全額             | (a) 一般生命保険料控除（限度額）28,000 円           |
| 12,001 円 ～ 32,000 円                                                                                                                                                | 支払保険料×1/2 + 6,000 円  | (b) 個人年金保険料控除（限度額）28,000 円           |
| 32,001 円 ～ 56,000 円                                                                                                                                                | 支払保険料×1/4 + 14,000 円 | (c) 介護医療保険料控除（限度額）28,000 円           |
| 56,001 円 ～                                                                                                                                                         | 28,000 円（限度額）        | ※ (a) + (b) + (c) の合計額（限度額 70,000 円） |
| (2) 旧契約（平成23年12月31日以前に締結した保険契約）による保険料を支払った場合（一般・年金それぞれに適用）                                                                                                         |                      |                                      |
| 年間の支払保険料                                                                                                                                                           | 控除額                  |                                      |
| ～ 15,000 円                                                                                                                                                         | 支払保険料の全額             | (a) 一般生命保険料控除（限度額）35,000 円           |
| 15,001 円 ～ 40,000 円                                                                                                                                                | 支払保険料×1/2 + 7,500 円  | (b) 個人年金保険料控除（限度額）35,000 円           |
| 40,001 円 ～ 70,000 円                                                                                                                                                | 支払保険料×1/4 + 17,500 円 | ※ (a) + (b) の合計額（限度額 70,000 円）       |
| 70,001 円 ～                                                                                                                                                         | 35,000 円（限度額）        |                                      |
| ※ 一般生命保険料控除と個人年金保険料控除について、新契約と旧契約の両方を契約している場合、各控除ごとに、<br>⑦新契約のみで申告、④旧契約のみで申告、⑦新旧両契約で申告 のいずれかを選択できます。<br>なお、⑦の新旧両契約で申告された場合、各控除ごとの限度額は 28,000 円、全体の限度額は 70,000 円です。 |                      |                                      |

⑱地震保険料控除額

|                                                                   |               |                       |                     |
|-------------------------------------------------------------------|---------------|-----------------------|---------------------|
| (1) 地震保険料のみを支払った場合                                                |               | (2) 旧長期損害保険料のみを支払った場合 |                     |
| 年間の支払保険料                                                          | 控除額           | 年間の支払保険料              | 控除額                 |
| ～ 50,000 円                                                        | 支払保険料×1/2     | ～ 5,000 円             | 支払保険料の全額            |
| 50,001 円 ～                                                        | 25,000 円（限度額） | 5,001 円 ～ 15,000 円    | 支払保険料×1/2 + 2,500 円 |
|                                                                   |               | 15,001 円 ～            | 10,000 円（限度額）       |
| ※ 経過措置により、平成 18 年 12 月 31 日までに締結した長期損害保険契約については従前の損害保険料控除が受けられます。 |               |                       |                     |
| ※ 地震保険料と旧長期損害保険料の両方を支払った場合、(1)と(2)で求めた額の合計額。（限度額 25,000 円）        |               |                       |                     |

㉓㉔配偶者控除額、配偶者特別控除額

| 納税義務者本人の<br>合計所得金額 | 配偶者控除    |          | 配 偶 者 特 別 控 除    |                   |                   |                   |                   |                   |                   |                   |
|--------------------|----------|----------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
|                    | 一般       | 老人配偶者    |                  |                   |                   |                   |                   |                   |                   |                   |
|                    | 58万円以下   |          | 58万円超<br>100万円以下 | 100万円超<br>105万円以下 | 105万円超<br>110万円以下 | 110万円超<br>115万円以下 | 115万円超<br>120万円以下 | 120万円超<br>125万円以下 | 125万円超<br>130万円以下 | 130万円超<br>133万円以下 |
| 900万円以下            | 330,000円 | 380,000円 | 330,000円         | 310,000円          | 260,000円          | 210,000円          | 160,000円          | 110,000円          | 60,000円           | 30,000円           |
| 900万円超 950万円以下     | 220,000円 | 260,000円 | 220,000円         | 210,000円          | 180,000円          | 140,000円          | 110,000円          | 80,000円           | 40,000円           | 20,000円           |
| 950万円超 1,000万円以下   | 110,000円 | 130,000円 | 110,000円         | 110,000円          | 90,000円           | 70,000円           | 60,000円           | 40,000円           | 20,000円           | 10,000円           |

※ 老人配偶者……昭和31年1月1日以前に生まれた配偶者

㉕扶養控除額

| 区 分                                                                            | 控除額      |
|--------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 一 般 扶 養 …… 控除対象扶養親族のうち、昭和31年1月2日から平成15年1月1日に生まれた人、及び平成19年1月2日から平成22年1月1日に生まれた人 | 330,000円 |
| 特 定 扶 養 …… 扶養親族のうち、平成15年1月2日から平成19年1月1日に生まれた人                                  | 450,000円 |
| 老 人 扶 養 …… 控除対象扶養親族のうち、昭和31年1月1日以前に生まれた人（年齢が70歳以上の人）                           | 380,000円 |
| 同 居 老 親 等 …… 老人扶養親族のうち、あなたや配偶者の直系尊属であたなや配偶者との同居を常況としている人                       | 450,000円 |

※ 16歳未満の扶養親族は控除対象外ですが、住民税の課税判定等に必要がありますので、申告書表面の「16歳未満の扶養親族（控除対象外）」欄に必ず記入してください。

㉖特定親族特別控除額

|                                       |                 |                  |                   |                   |                   |                   |                   |
|---------------------------------------|-----------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 特 定 親 族 …… 平成15年1月2日から平成19年1月1日に生まれた人 |                 |                  |                   |                   |                   |                   |                   |
| 特定親族の<br>合計所得金額                       | 58万円超<br>95万円以下 | 95万円超<br>100万円以下 | 100万円超<br>105万円以下 | 105万円超<br>110万円以下 | 110万円超<br>115万円以下 | 115万円超<br>120万円以下 | 120万円超<br>123万円以下 |
| 控除額                                   | 450,000円        | 410,000円         | 310,000円          | 210,000円          | 110,000円          | 60,000円           | 30,000円           |

㉗基礎控除

| 合計所得金額             | 控除額  |
|--------------------|------|
| 2,400万円以下          | 43万円 |
| 2,400万円超 2,450万円以下 | 29万円 |
| 2,450万円超 2,500万円以下 | 15万円 |